

子供とスマホ

利用にはルール作りが大切

スマートフォン(以下、スマホ)が発売されてから約10年が経ち、私たちの生活は大きく変化しました。スマホは電話機能だけでなく、インター

ネットに接続することで、さまざまなサービスをいつでも気軽に手に入れることができます。この間、子供のスマホ利用率も上がり、平成30年の内閣府調査によると、小学生40・7%、中学生65・8%、高校生94・3%となっています。大人の使用目的としては、メールやSNS(ライン、Twitter、フェイスブック、インスタグラムなど)といったコミュニケーションツールの利用が多いのですが、子供では動画視聴とゲームが圧倒的に多いことが特徴です。

平成27年に日本小児科学会から「子どもとICT(スマートフォン・タブレット端末など)の問題についての提言」が

行われています。そこでは、不適切なICT利用により、子供の成長発達や心身の健康に悪影響が及ぼされると提言されています。

子供のスマホ使用による具体的な問題点は、(1)SNS利用による個人情報流出やいじめ、それらが犯罪に発展し子供が関与する危険性、(2)長時間の動画視聴による学力や視力低下、睡眠時間の低下など生活リズムの破綻、(3)ゲームによる生活リズムの乱れ、アプリ内課金による金銭トラブルなどが挙げられます。

子供にスマホを与えるときは、必ず「購入前に」保護者と子供でルールを作ることが大切です。7年前にアメリカの親子が交わしたスマホの使用ルールが有名です。「スマホ18の約束」で検索してみてください。